

2022年3月期決算 カンファレンスコール資料

2022年5月11日

日本ライフライン株式会社

1. 2022年3月期 決算概要
2. 2023年3月期 業績予想
3. 販売状況および今後の見通し



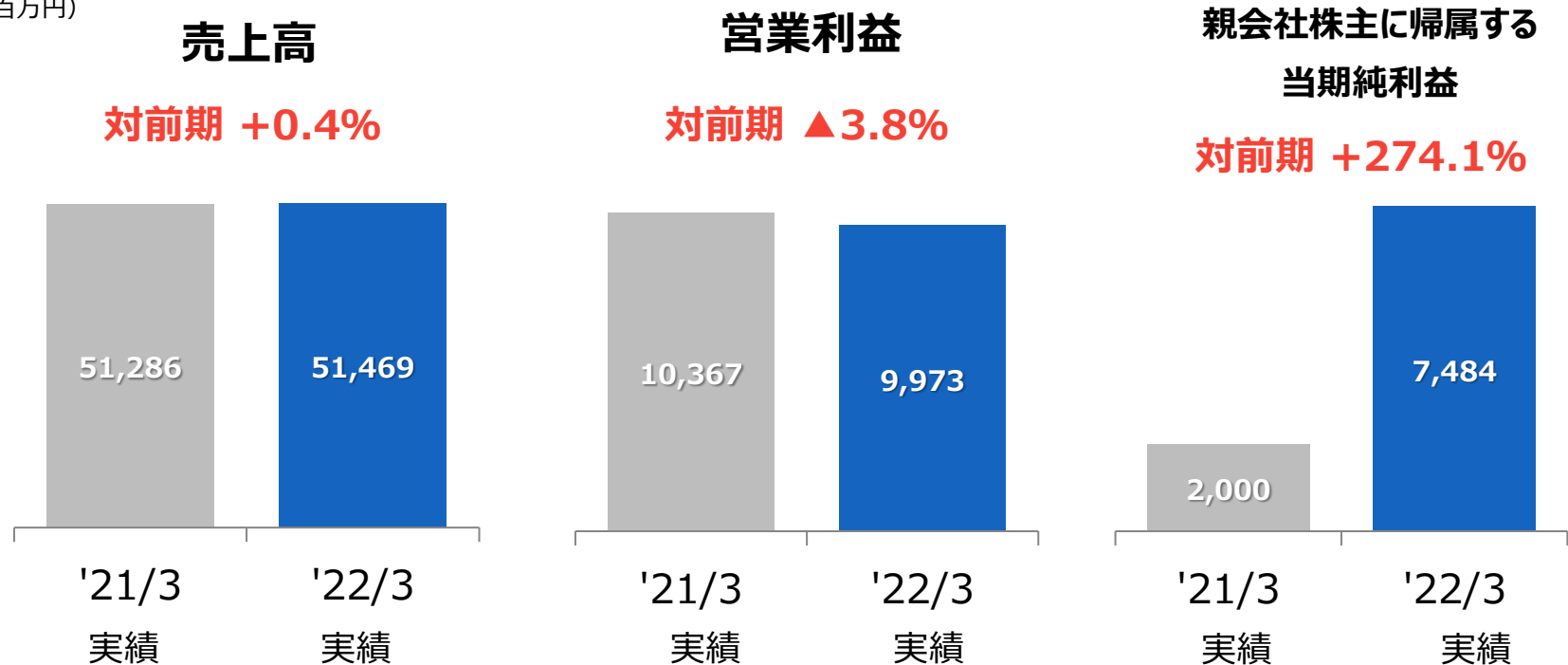
1. 2022年3月期 決算概要

常務取締役管理本部長

山田 健二

- ・ 売上高 : 新型コロナの感染拡大や競争環境の激化により前期並み
- ・ 営業利益 : 研究開発費、治験費用、営業関連費用等の増加により減益
- ・ 当期純利益 : 前期に特別損失の計上があったため、当期は大幅に増益

(単位;百万円)



(単位;百万円)	2021/3期 実績	2022/3期 実績	対前期
売上高	51,286	51,469	+0.4%
売上総利益	28,664	28,835	+0.6%
売上総利益率	55.9%	56.0%	+0.1pt
販管費	18,296	18,861	+3.1%
販管費率	35.7%	36.6%	+0.9pt
営業利益	10,367	9,973	△3.8%
営業利益率	20.2%	19.4%	△0.8pt
経常利益	10,519	10,005	△4.9%
経常利益率	20.5%	19.4%	△1.1pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,000	7,484	+274.1%
当期純利益率	3.9%	14.5%	+10.6pt

売上総利益率：0.1pt改善

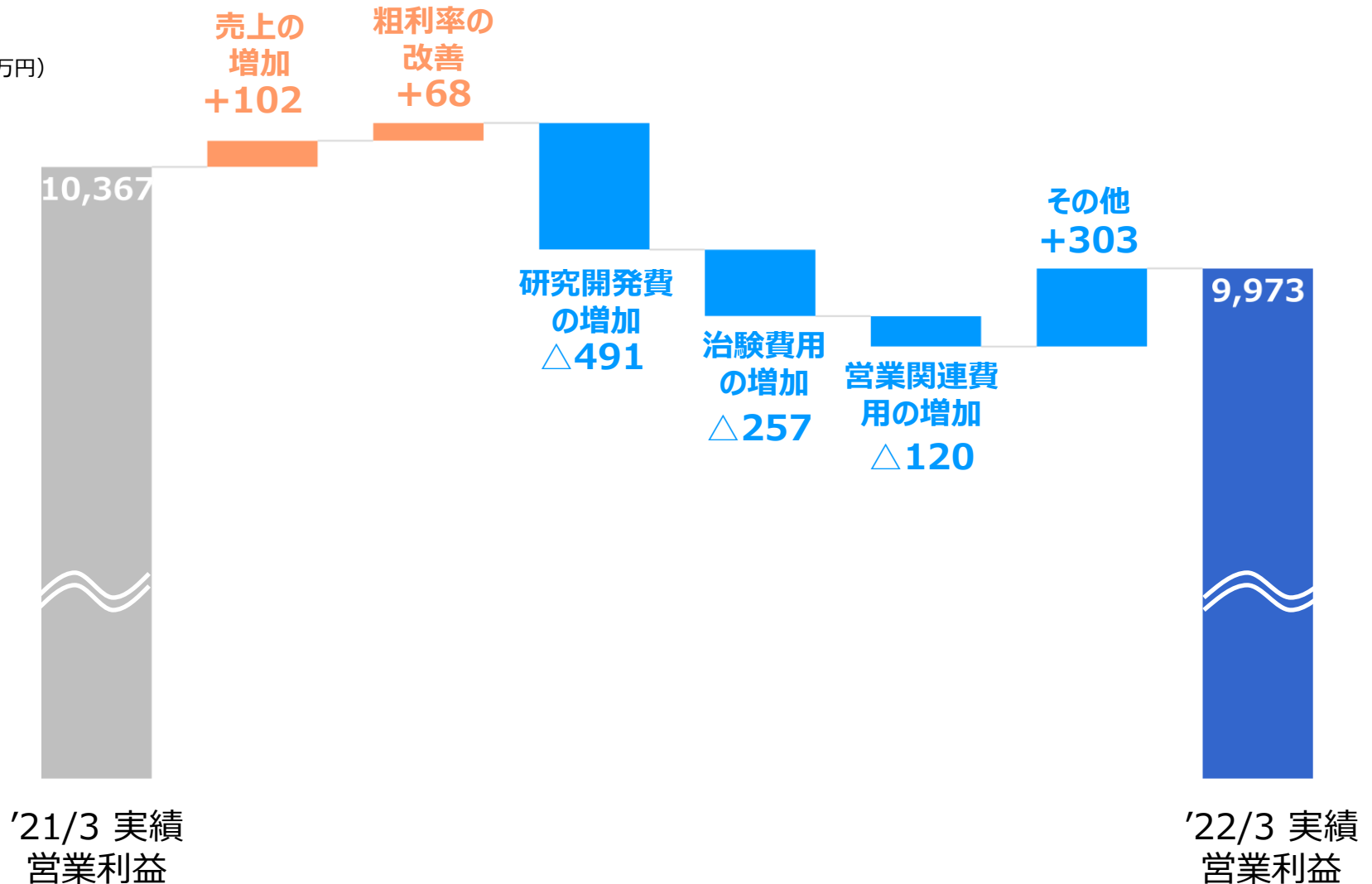
- ・ 自社製品比率の上昇（52.4% 対前期+2.5pt）が「Orsiro」の商品評価損等のマイナス要因を吸収

営業利益率：0.8pt低下

- ・ 研究開発費や治験費用、営業関連費用の増加により、販管費率は0.9pt上昇

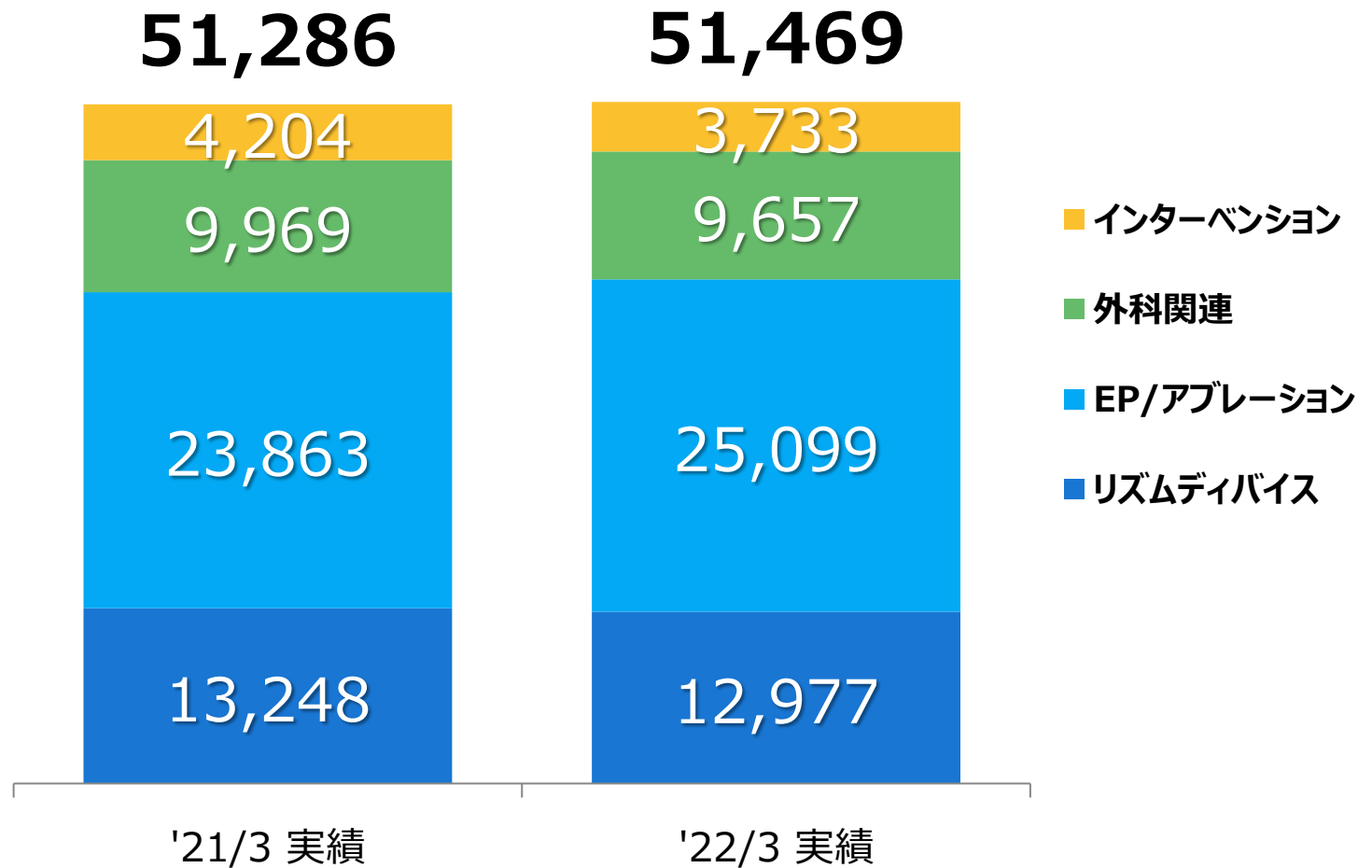
売上増や粗利率の改善があるも、販管費増により減益

(単位;百万円)



(単位;百万円)

対前期
+0.4%



リズムデバイス 対前期 △2.0%

- ペースメーカ関連は、競合他社の新製品発売の影響等により販売が伸び悩む
- ICD関連は、通常のICDは交換症例の獲得により販売数量が伸長したものの、S-ICDの販売は手技面での課題等もあり停滞
- 閉塞性睡眠時無呼吸症の植込み型治療デバイス「Inspire UAS」を2022/3期4Qから販売開始

EP/アブレーション 対前期 +5.2%

- 心房細動（AF）のアブレーション治療の症例数は、前期比+7%程度
- 「BeeAT」、「Esophastar」の販売数量は伸長したものの、「RFニードル」は競合他社の新規参入による影響を受け減収
- 「HeartLight X3」やスティーラブルシース「Leftee」等の治療領域の製品が伸長

外科関連 対前期 △3.1%

※ 販売終了品の影響除く +3.1%

- 人工血管は上市後13年ながらも、対前期で販売数量が引き続き増加
- オープンステントグラフトは、コロナ禍で治療時間を短縮出来るメリットが評価され伸長
- 塞栓用コイル「Avenir」を2022/3期 3Qに上市、腹部末梢領域から販売を開始
- 2021年4月の血液浄化事業の譲渡が主な減収要因

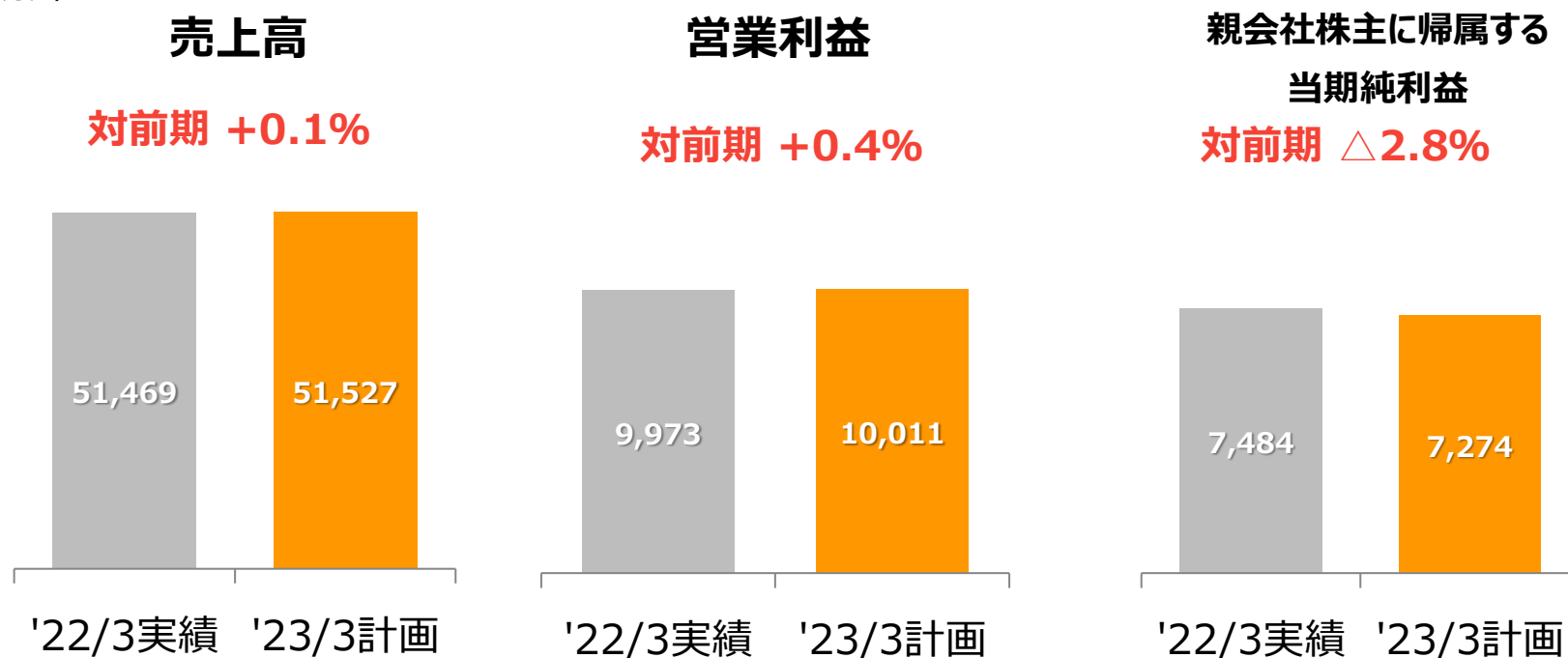
インターベンション 対前期 △11.2%

- PCI症例数の回復に遅れ
- 「Orsiro」の独占販売契約を2022年6月に前倒して終了することを決定
- 胃・十二指腸ステントは2022/3期 2Qに上市後、採用施設が増加
- 2021/3期 3Qの貫通用カテーテルの販売終了も減収要因

2. 2023年3月期 業績予想

- ・ **売上高** : 症例数の緩やかな回復を見込むも、保険償還価格の改定等の影響を受け、前期並みの水準に留まる
- ・ **営業利益** : 営業関連費用等の増加を見込むものの、自社製品比率の上昇に伴い、売上総利益率が改善し増益
- ・ **当期純利益** : 前期に繰延税金資産の評価性引当金の減少があったため減益

(単位;百万円)



2023年3月期 連結業績予想

(単位;百万円)	2021/3期 実績	2022/3期 実績	2023/3期 計画	対前期
売上高	51,286	51,469	51,527	+0.1%
売上総利益 売上総利益率	28,664 55.9%	28,835 56.0%	29,792 57.8%	+3.3% +1.8pt
販管費 販管費率	18,296 35.7%	18,861 36.6%	19,781 38.4%	+4.9% +1.8pt
営業利益 営業利益率	10,367 20.2%	9,973 19.4%	10,011 19.4%	+0.4% +0.0pt
経常利益 経常利益率	10,519 20.5%	10,005 19.4%	10,003 19.4%	△0.0% △0.0pt
親会社株主に帰属する 当期純利益 当期純利益率	2,000 3.9%	7,484 14.5%	7,274 14.1%	△2.8% △0.4pt

売上総利益率：1.8pt改善

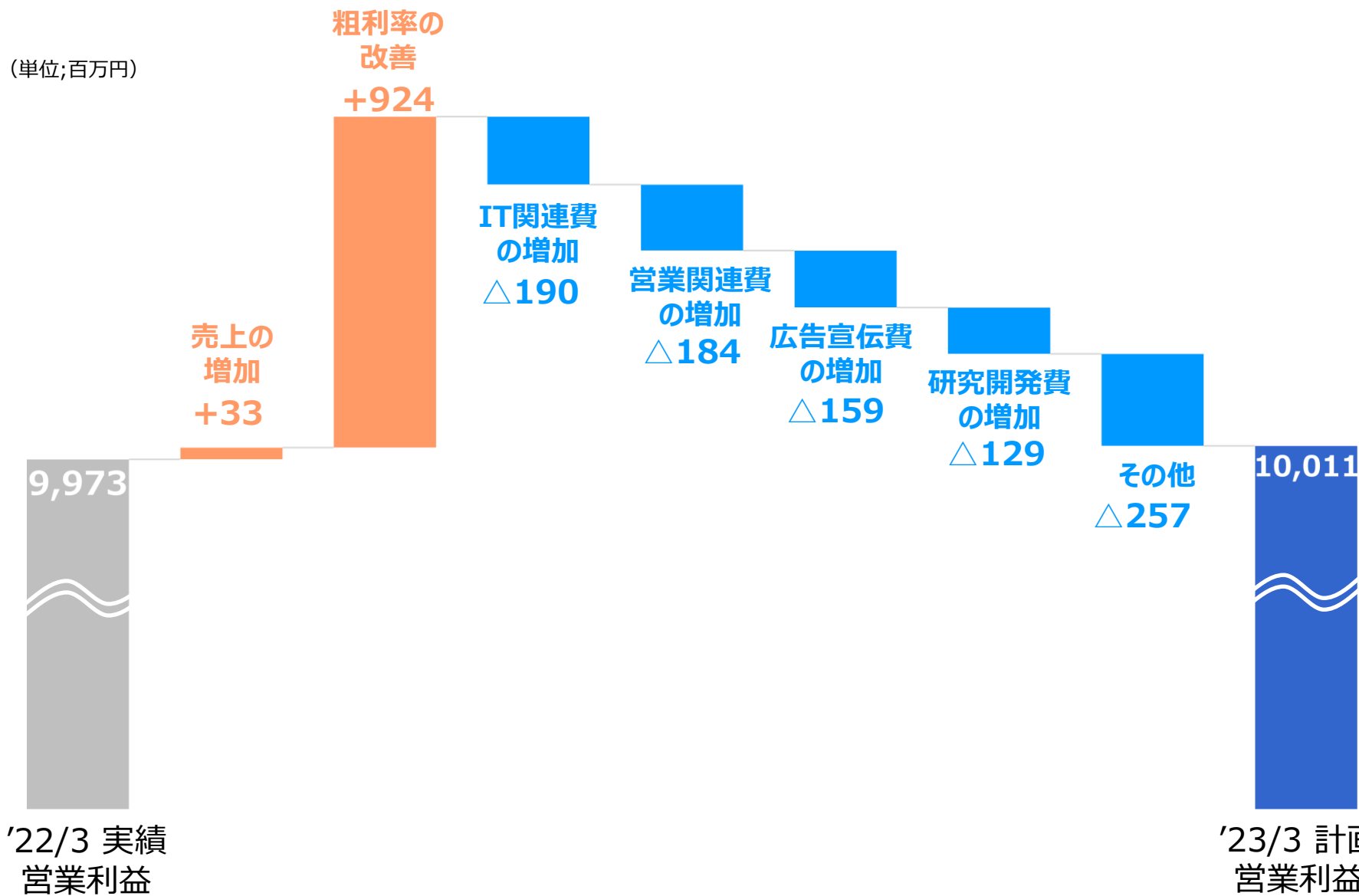
- ・ 自社製品比率の上昇
(53.3% 対前期+0.9pt)
- ・ 採算が悪化していた「Orsiro」
の販売契約を終了

営業利益：0.4%増加

- ・ 営業関連費用等の増加により
販管費率が1.8pt上昇するも
増益を維持

売上の増加・粗利率改善が販管費の増加を吸収

(単位:百万円)



設備投資額/減価償却費/研究開発費/従業員数

(単位;百万円)		2019/3期	2020/3期	2021/3期* ²	2022/3期	2023/3期
設	備 投 資 額	1,248	2,536	1,382	1,633	2,245
減	価 償 却 費	1,176	1,264	1,525	1,611	1,772
研	究 開 発 費	1,431	1,743	1,667	2,159	2,288
期末従業員数	連結	932	1,074* ¹	1,167* ¹	1,205* ¹	1,276
(名)	単体	850	995* ¹	995* ¹	984* ¹	1,011

*¹ 2020/3期より、連結・単体従業員数にはボストン・サイエンティフィック ジャパン社からの出向社員含む

*² 2021/3期より、JLLマレーシア社を新規連結

原則

中長期的な成長のために必要な設備投資・研究開発投資等を行ったうえで、今後の資金需要を鑑みて安定的な株主還元を実施する

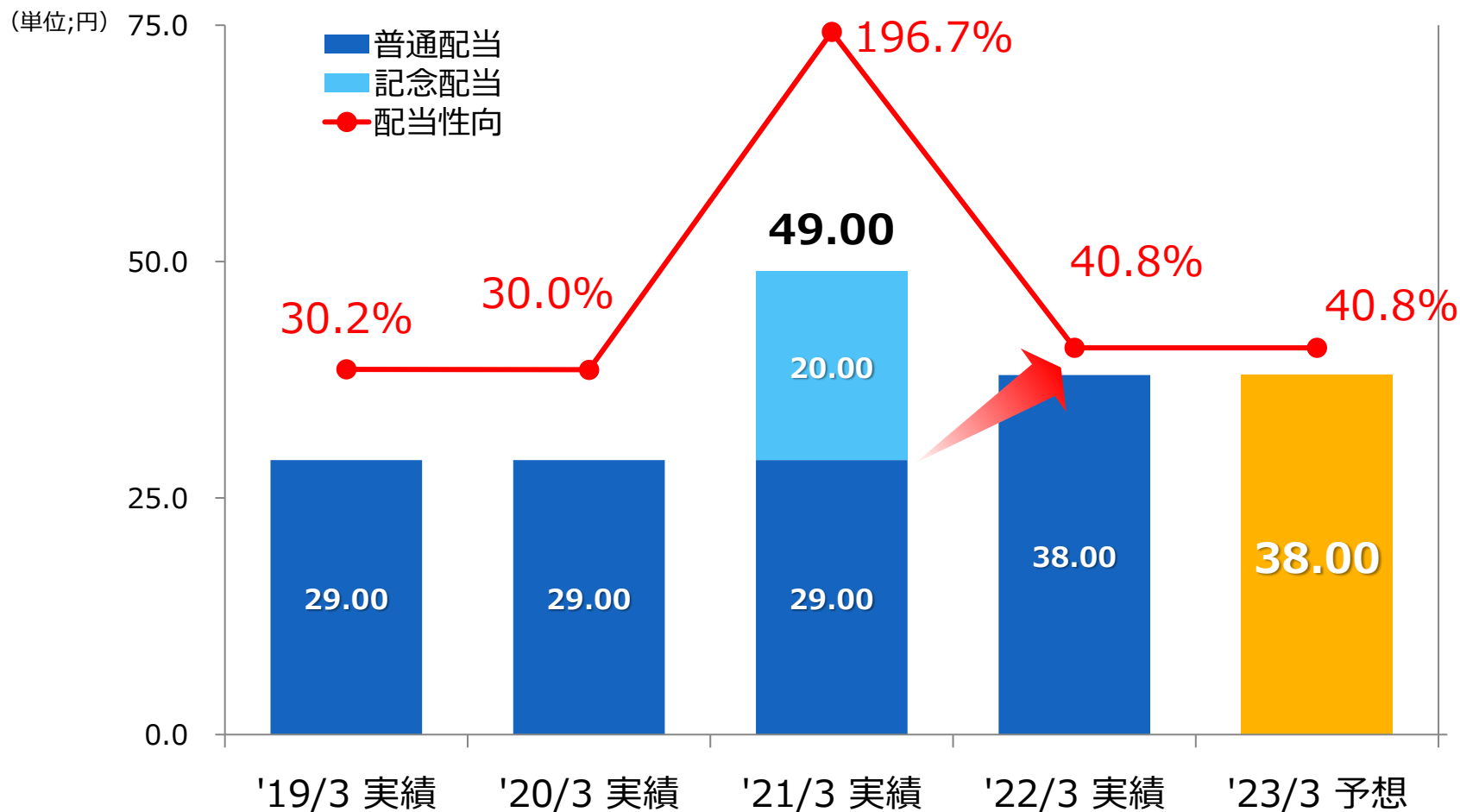
配当

✓ 配当による還元を原則とし、安定的な配当を目指す

自社株買い

✓ 資金需要と株価の水準を勘案したうえで適切な時機をみて実行する

2023年3月期 配当予想 1株当たり38.00円



前期に引き上げた配当水準を維持

2022/2/25開催の取締役会で、
自己株式の取得及び消却に関する事項を決定

取得する株式の種類 : 普通株式

取得する株式の総数 : 250万株（上限）
発行済株式（自己株式除く）の3.1%

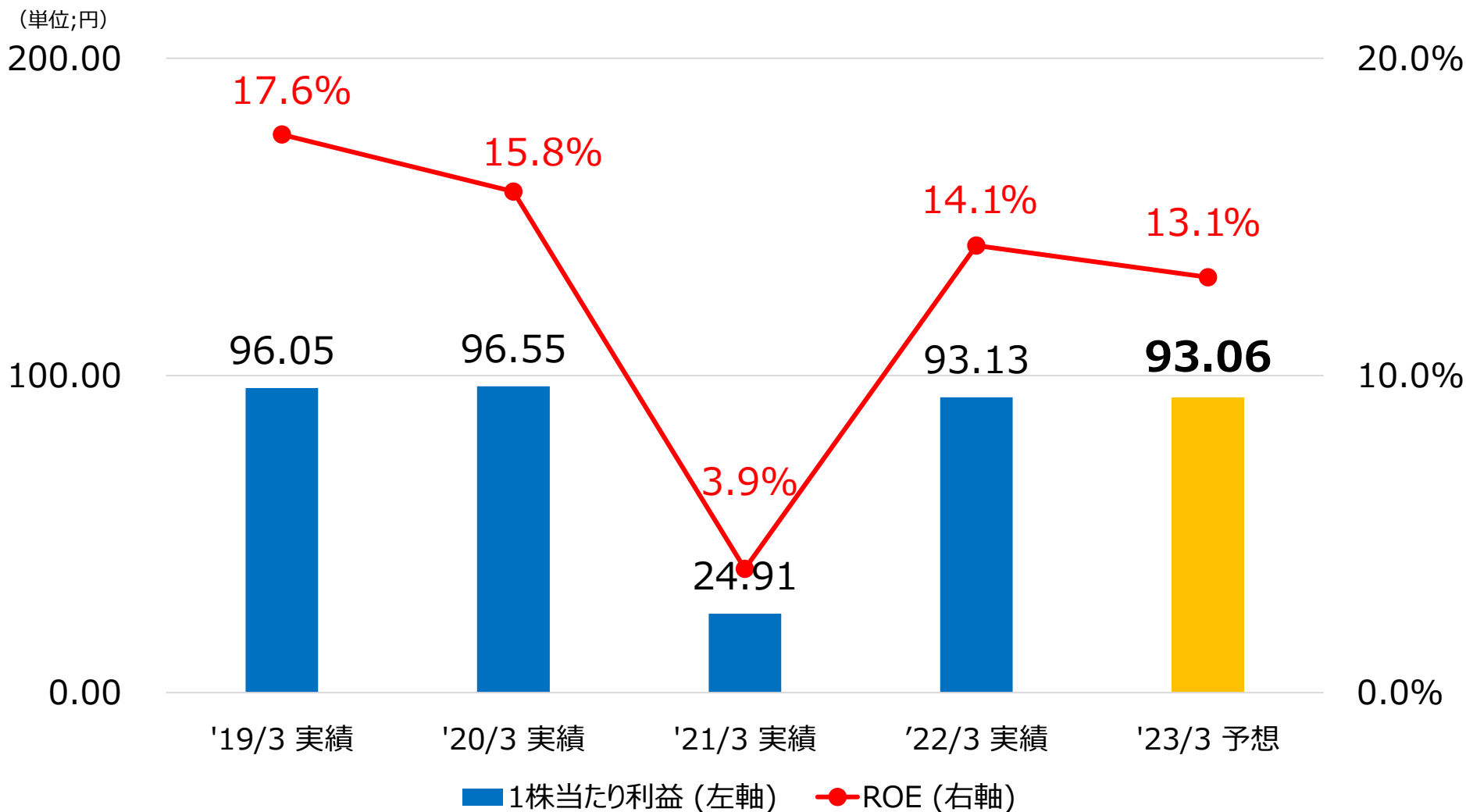
取得する株式の総額 : 35億円（上限）

取 得 期 間 : 2022/2/28～2022/8/31

消 却 予 定 日 : 2022/9/16

**資金需要を営業CFで十分に賄えていることと
直近の株価水準を鑑みて、自社株買いによる株主還元を実施**

1株当たり純利益（EPS）とROEの推移



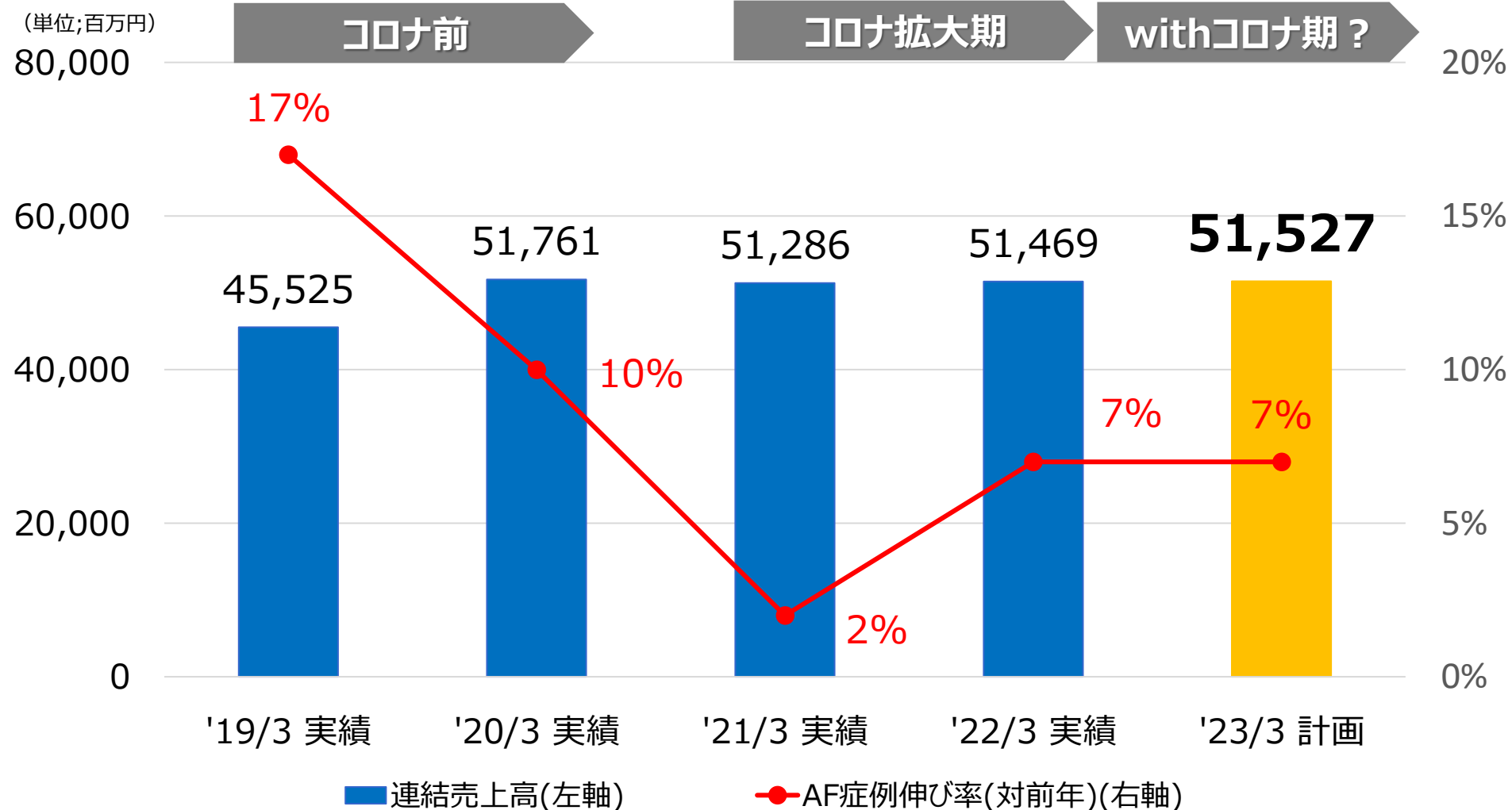
売上・利益の成長戦略を実行しつつ、
資本効率の向上にも努める

3. 販売状況および今後の見通し

代表取締役副社長

鈴木 厚宏

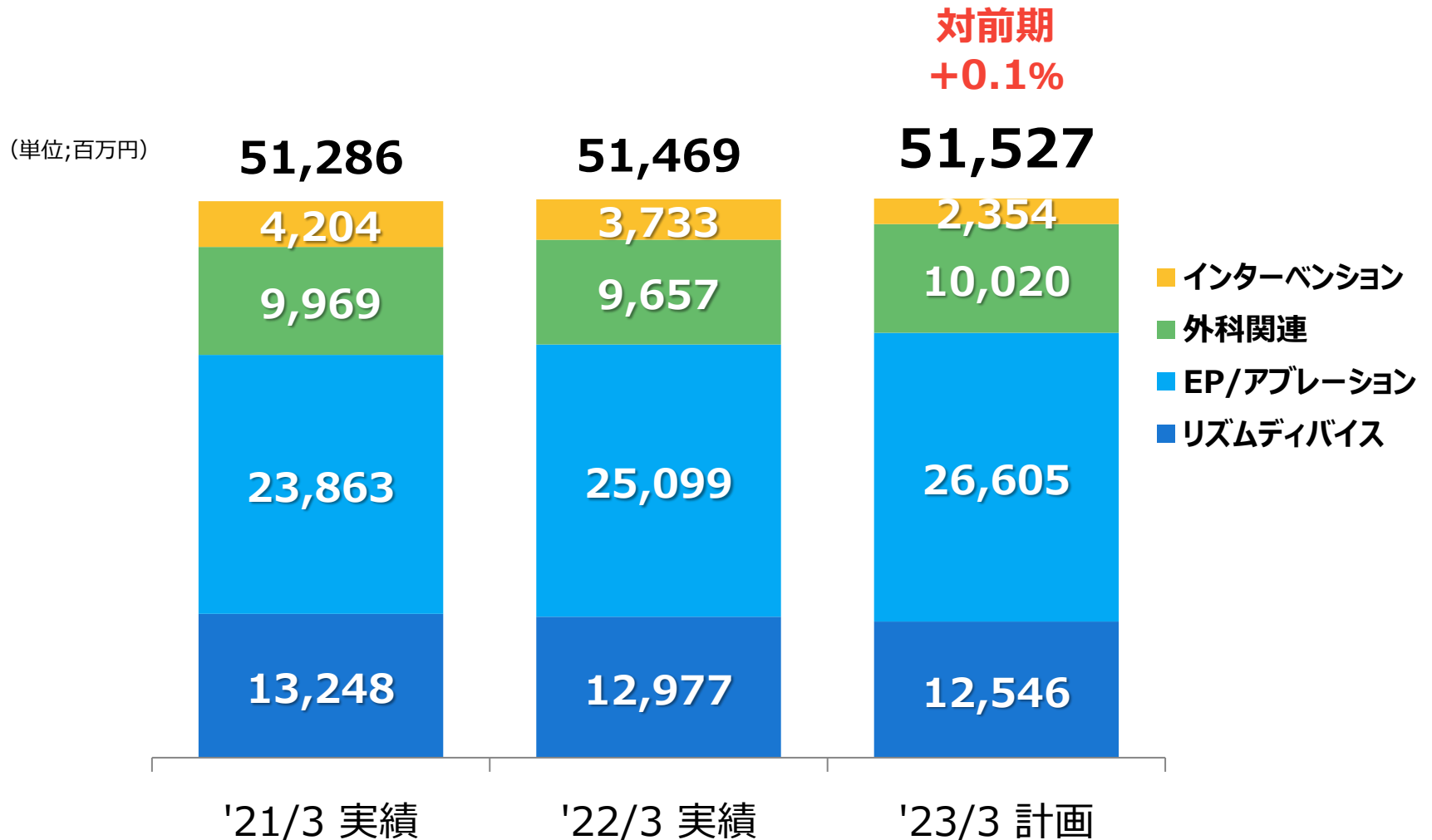
連結売上高 5期売上高とAF症例伸び率の推移



**‘23/3期のコロナ感染状況は一進一退を想定
症例数の大幅な回復は見込まず**

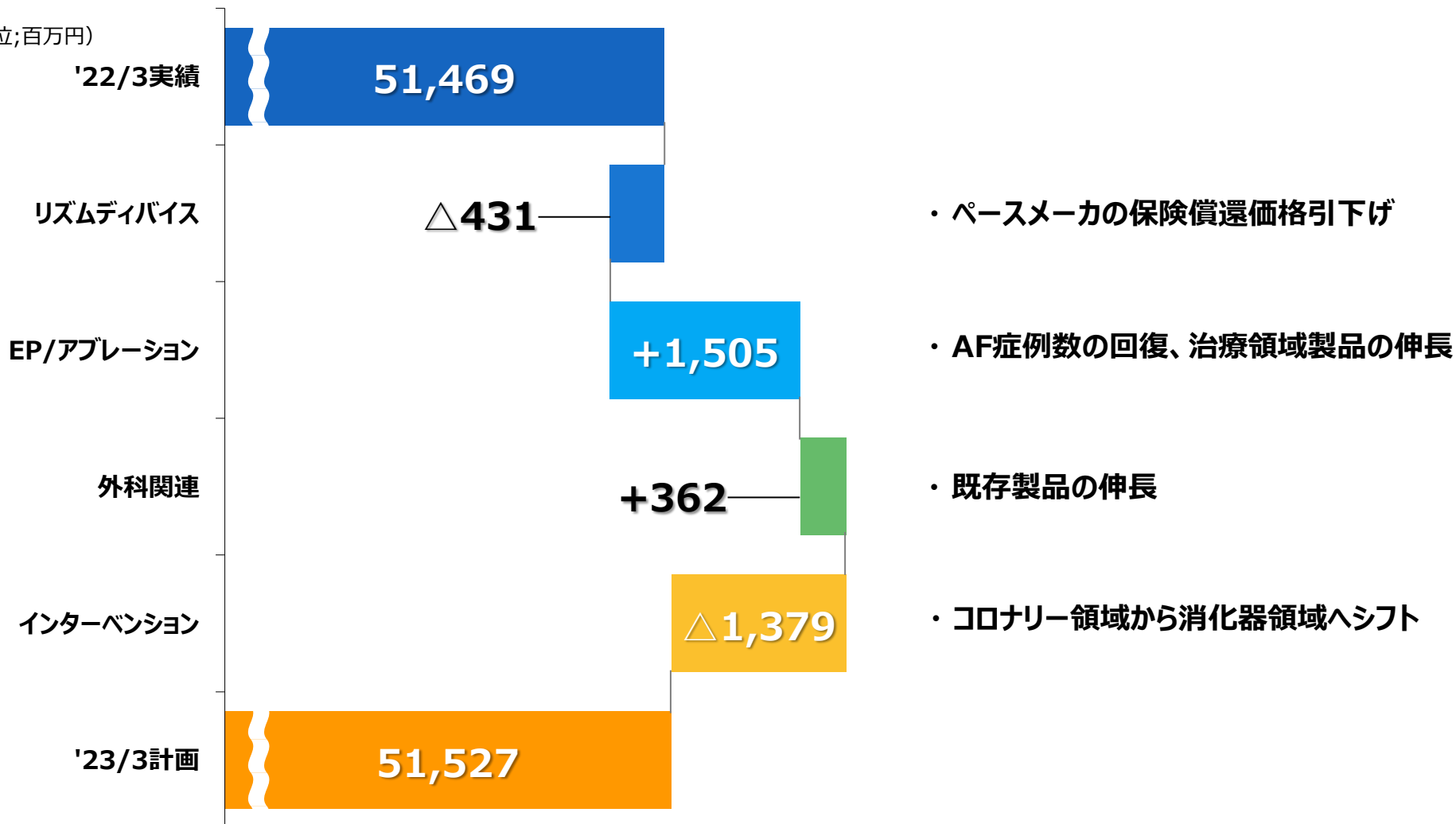
	品目区分	製品・事業	状況
終了	インターベンション	貫通用カテーテル	独占販売契約の終了 (’20/11)
	外科関連	血液浄化事業	事業譲渡 (’21/4)
	インターベンション	薬剤溶出型冠動脈ステント 「Orsiro」	独占販売契約の終了 (’22/6)
新規 (後継品の発売を 含む)	EP/アブレーション	内視鏡レーザーアブレーション 「HeartLight X3」	’21/7 発売
	外科関連	腹部用ステントグラフト 「Alto」	’21/10 発売
	インターベンション (消化器)	胃・十二指腸ステント 「Jentlly Neo Duodenal Stent」	’21/9 発売
	リズムデバイス	舌下神経電気刺激装置 「Inspire UAS」	’22/2 国内初症例
	インターベンション (消化器)	胆膵関連製品群	’23/3期 2H発売予定

新規製品・事業の収益貢献は’23/3期は限定的
中長期の成長に向けた「仕込み」期の位置づけ

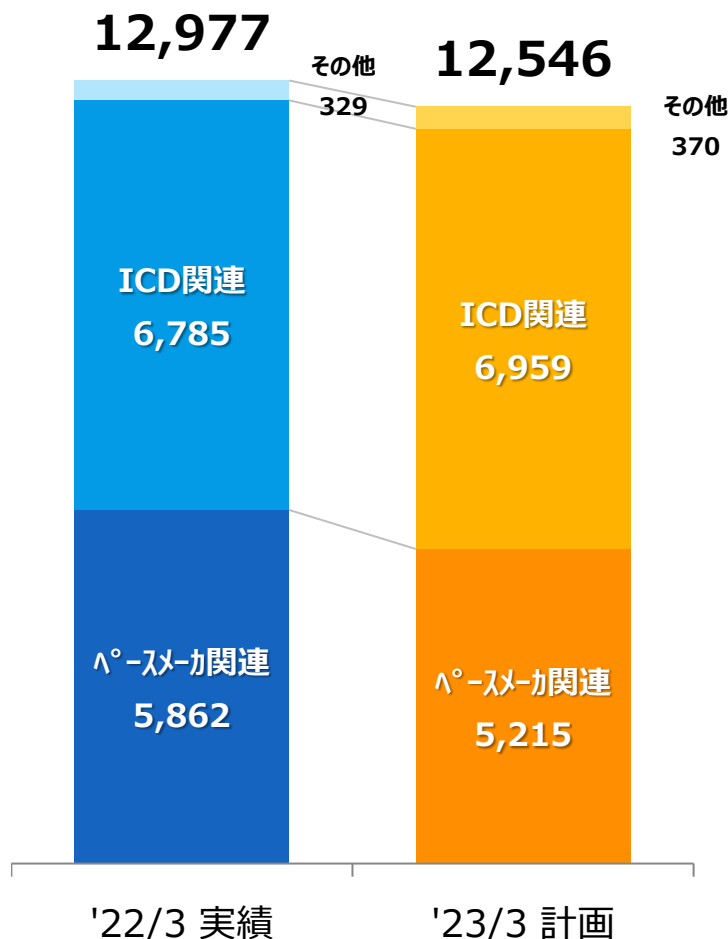


対前期 +58百万円

(単位;百万円)



対前期
△3.3%



(単位;百万円)

・ ペースメカ関連は保険償還改定の影響を大きく受ける

- － 保険償還価格の引き下げの影響が大きく、販売数量は前期を上回るも減収
- － 他社の新製品や価格攻勢等によりシェアが伸び悩む

・ ICD関連は交換症例を中心に回復

- － 新型コロナの影響で延期されていた交換症例が増加傾向
- － オンリーワン商品であるS-ICDの更なる拡販に尽力

・ 新領域の開拓を進める

- － 睡眠時無呼吸症の植込み型治療デバイス「Inspire」の普及活動の実施

閉塞性睡眠時無呼吸症の治療デバイスを販売

- Inspire Medical Systems, Inc. (米国)
- 2022/3期 4Qに発売を開始し、国内初の植え込みを実施
- CPAP*不適患者に対する新たな治療の選択肢を提供
- 潜在患者の掘り起こしを通じて普及に努める
 - 1) 公衆への認知度向上
 - 2) 非連携病院・クリニックへの認知度向上、紹介
 - 3) 連携病院・クリニックからの紹介
 - 4) 院内(耳鼻咽喉科・頭頸部外科以外)での紹介



「Inspire UAS」(パルスジェネレータ)

* CPAP: Continuous Positive Airway Pressure (経鼻的持続陽圧呼吸療法)

**健康社会の実現に寄与する
社会的意義のある商品が加わる**

デリバリーカテーテルの販売を開始

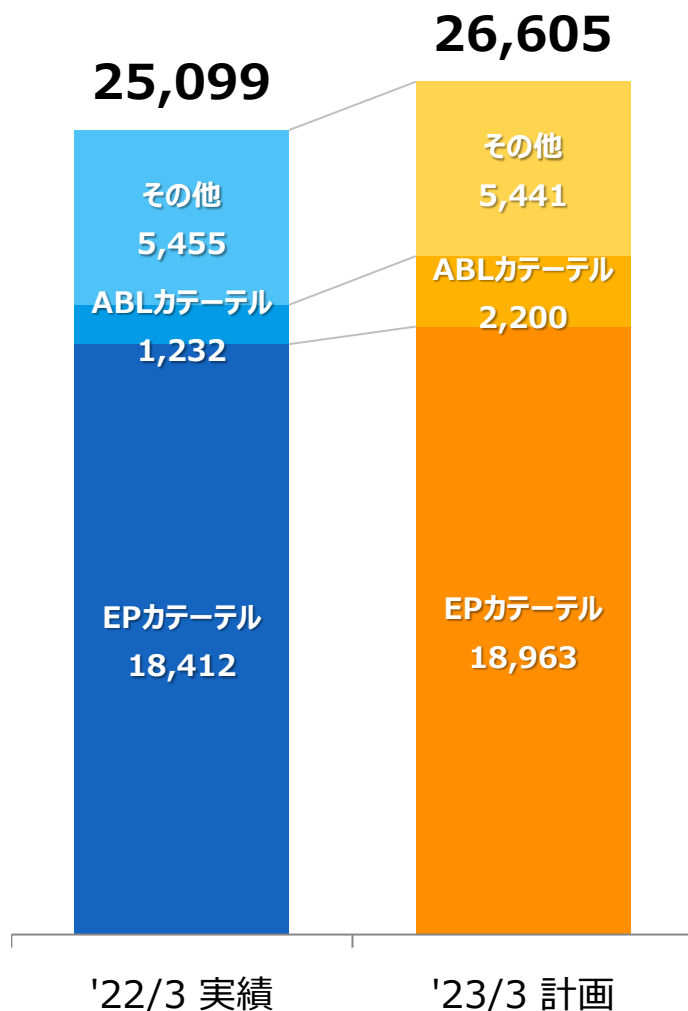
- 「Site Selective Pacing デリバリーカテーテル」
- 2023/3期より全面販売を開始
- 様々な先端形状により、リードの留置部位の多様性に対応する設計
- リードの植込み手技をより容易にし、手技の均一化、植込み時間の短縮、安全性に寄与



デリバリーカテーテル「SSPC」

**医療現場のニーズに応えることで
デバイス本体のシェア向上に繋げる**

対前期
+6.0%



(単位;百万円)

- RFニードルは競合の参入の影響を受ける

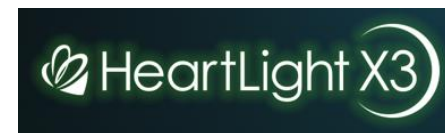
- － オンリーワン商品であったRFニードルは競合の出現による影響を受け、シェアの低下を想定

- HeartLight X3が成長を牽引

- － バルーン市場において2022/3期からのシェア倍増を目指す

HeartLight X3が好調に推移

- 内視鏡レーザーアブレーションカテーテル
- 2022/3期 2Qに上市後順調に推移
- 引き続き採用施設の開拓に取り組む
- 2023/3期 2Hに台湾に上市予定



国内において確かな評価を獲得

- モーターコントロールによる連続的な焼灼が可能
- 手技時間*が第1世代に比べ30%程度短縮

第1世代：平均約155分 X3：平均約110分

- HeartLight X3の1年後洞調律維持率90%の報告 (HRS 2021)

内視鏡レーザーアブレーションシステム
「HeartLight X3」

左：カテーテル 右：コンソール

* 当社臨床データ (2022/5/6 時点)

バルーン症例における有力な選択肢へと成長

EPカテーテルのラインナップ拡充

- EPカテーテル「EPstar FIX AIV*」
- 2022/3期 1Qより全面販売を開始
- 高い技術力を要する細径のカテーテル
- 主に心室性不整脈の症例に使用
- ワイヤーを先行し、従来届かなかった位置に留置することが可能に

EPカテーテル「EPstar FIX AIV」

* AIV: Anterior Interventricular Vein (前室間静脈)

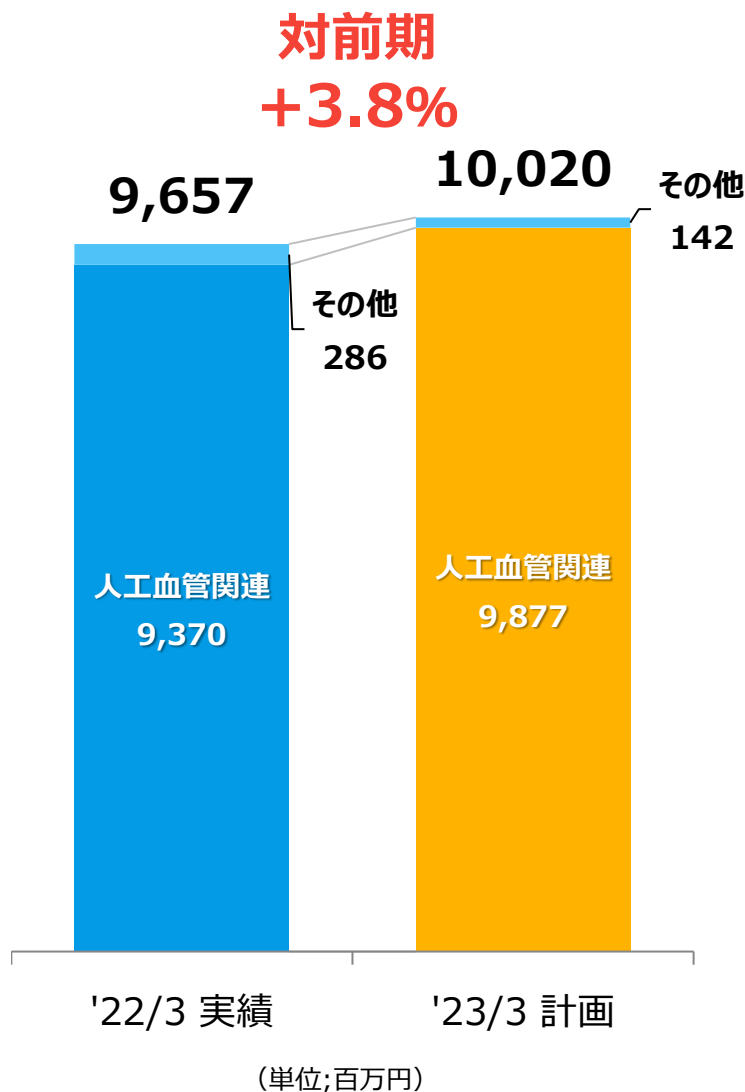
BeeAT 販売開始10周年

- 心腔内除細動カテーテル「BeeAT」
- 2012年より販売を開始し、10年に渡り医療現場の信頼を獲得
- 独自の技術で可能にした4つのマルチルーメン構造
- 合計14モデルをラインナップし、ドクターの多様なアプローチに応える



BeeAT 販売開始10周年記念ロゴ

**医療現場の声に寄り添い
確かな技術力を以てかたちにしていく**



・ 自社製品は安定的に成長

- 人工血管の一層の普及
- 4分岐付オープンスtentグラフトの導入

・ 腹部用stentグラフトの拡販

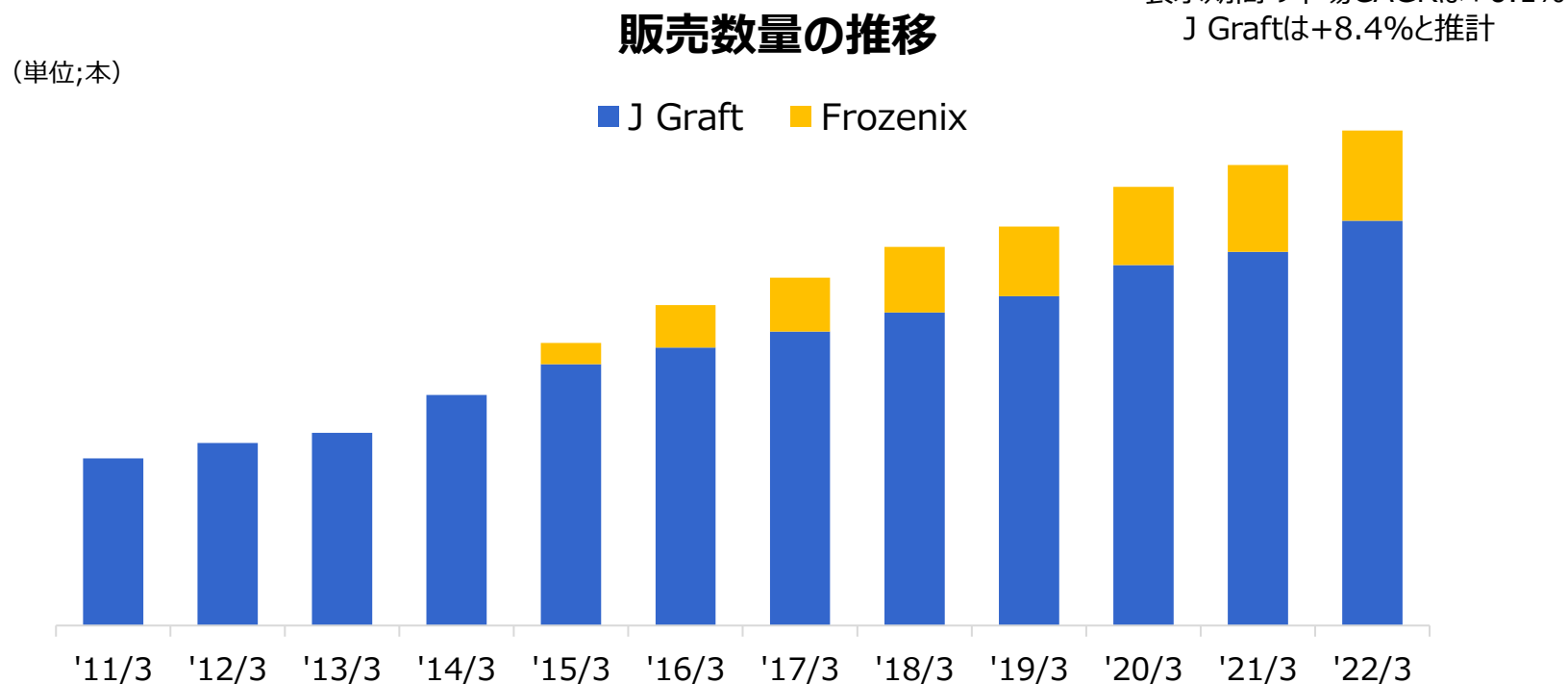
- 「Alto」の採用施設数を拡大
- ラインナップの増加により幅広い症例をカバー

・ 新領域に参入

- 血管内塞栓用コイル「Avenir」
- 腹部末梢領域から脳血管領域へ進出

自社製品は安定的に成長

- 人工血管「J Graft」シリーズは上市後、右肩上がりに成長
- オープンステントグラフトとの複合手術の浸透が進む
- 国内のR&D拠点でスピーディに改善・改良に着手



ラインナップの拡充を進め、多様な顧客ニーズに対応

血管内塞栓用コイル「Avenir」の導入

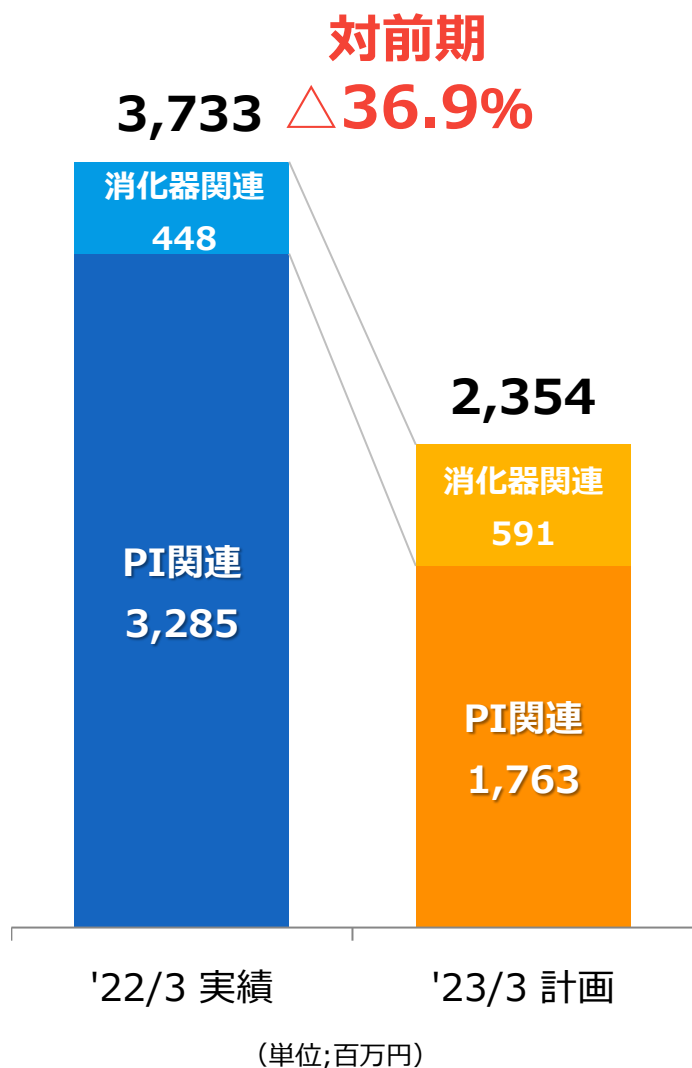
- 2022/3期 3Qに腹部末梢領域にて先行上市済み
- 2023/3期 1Qに脳血管領域へ新規参入
- 脳血管領域の国内市場規模は約300億円*
- 周辺デバイスの導入交渉や、自社開発を進める

* 出所：矢野経済研究所2021、当社調べ



塞栓用コイル
「Avenir」

**腹部末梢領域のポートフォリオ強化と
新領域への進出を両立**



- **ビジネス構造の転換点**
 - 経営資源を消化器・胆膵領域へ
- **消化器領域の深堀**
 - 「arfa」のシェアアップを図る
 - 大腸ステントは新モデルを投入予定
- **胆膵領域のスタート**
 - セールスフォースの改編を実施
 - KOLドクターとのコミュニケーション強化

胆膵領域への本格参入

- 2023/3期 2Hから市場への導入を見込む
- 発売当初は8品目を上市予定
- 将来製品の開発を進める

既存技術の他領域への応用を推進



...for patient comfort.

参考資料

(資料) 品目別売上高 ('22/3期実績 対前期)

(単位;百万円)	2021/3期		2022/3期				備考
	通期 実績		通期 実績				
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
ペースメーカー関連	5,996	11.7%	5,862	11.4%	△ 134	△2.2%	
ICD関連	7,001	13.7%	6,785	13.2%	△ 216	△3.1%	
その他 * ¹	250	0.5%	329	0.6%	79	31.8%	AED含む
リズムデバイス 計	13,248	25.8%	12,977	25.2%	△ 271	△2.0%	
EPカテーテル * ¹	17,314	33.8%	18,412	35.8%	1,097	6.3%	心腔内除細動カテーテル含む
ABLカテーテル * ¹	1,047	2.0%	1,232	2.4%	184	17.6%	内視鏡レーザーアブレーションカテーテル含む
その他 * ¹	5,501	10.7%	5,455	10.6%	△ 46	△0.8%	高周波心房中隔穿刺針含む
EP/ABL 計	23,863	46.5%	25,099	48.8%	1,236	5.2%	
人工血管関連 * ¹	9,039	17.6%	9,370	18.2%	331	3.7%	ステントグラフト（胸部・腹部）、オープンスtentグラフト含む
その他	929	1.8%	286	0.6%	△ 643	△69.1%	人工肺関連含む
外科関連 計	9,969	19.4%	9,657	18.8%	△ 311	△3.1%	
PI関連 * ¹	3,957	7.7%	3,285	6.4%	△ 671	△17.0%	貫通用カテーテル、薬剤溶出型冠動脈stent、心房中隔欠損閉鎖器具含む
消化器関連 * ¹	247	0.5%	448	0.9%	200	81.2%	大腸stent、肝癌治療用ラジオ波焼灼電極針含む
インターベンション 計	4,204	8.2%	3,733	7.3%	△ 470	△11.2%	
合計	51,286	100.0%	51,469	100.0%	182	0.4%	

*¹ 自社製品含む

(資料) 連結損益計算書 ('22/3期実績 対前期)

(単位;百万円)	2021/3期		2022/3期			
	通期 実績		通期 実績			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	51,286	100.0%	51,469	100.0%	182	0.4%
売上原価	22,622	44.1%	22,634	44.0%	11	0.1%
売上総利益	28,664	55.9%	28,835	56.0%	170	0.6%
販管費及び一般管理費	18,296	35.7%	18,861	36.6%	564	3.1%
営業利益	10,367	20.2%	9,973	19.4%	△ 393	△3.8%
営業外収益	1,031	2.0%	316	0.6%	△ 714	△69.3%
営業外費用	879	1.7%	285	0.6%	△ 594	△67.6%
経常利益	10,519	20.5%	10,005	19.4%	△ 514	△4.9%
特別利益	3	0.0%	44	0.1%	40	1064.5%
特別損失	5,982	11.7%	8	0.0%	△ 5,973	△99.9%
税引前利益	4,540	8.9%	10,041	19.5%	5,500	121.1%
税金費用	2,540	5.0%	2,556	5.0%	16	0.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,000	3.9%	7,484	14.5%	5,483	274.1%

(資料) 品目別売上高 ('23/3期計画)

(単位;百万円)	2022/3期		2023/3期				備考
	通期 実績		通期 計画				
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
ペースメーカー関連	5,862	11.4%	5,215	10.1%	△ 646	△11.0%	
ICD関連	6,785	13.2%	6,959	13.5%	174	2.6%	
その他 * ¹	329	0.6%	370	0.7%	41	12.5%	AED含む
リズムデバイス 計	12,977	25.2%	12,546	24.3%	△ 431	△3.3%	
EPカテーテル * ¹	18,412	35.8%	18,963	36.8%	551	3.0%	心腔内除細動カテーテル含む
ABLカテーテル * ¹	1,232	2.4%	2,200	4.3%	968	78.6%	内視鏡レーザーアブレーションカテーテル含む
その他 * ¹	5,455	10.6%	5,441	10.6%	△ 14	△0.3%	高周波心房中隔穿刺針含む
EP/ABL 計	25,099	48.8%	26,605	51.6%	1,505	6.0%	
人工血管関連 * ¹	9,370	18.2%	9,877	19.2%	506	5.4%	ステントグラフト（胸部・腹部）、オープンスtentグラフト含む
その他	286	0.6%	142	0.3%	△ 144	△50.3%	人工肺関連含む
外科関連 計	9,657	18.8%	10,020	19.4%	362	3.8%	
PI関連 * ¹	3,285	6.4%	1,763	3.4%	△ 1,522	△46.3%	貫通用カテーテル、薬剤溶出型冠動脈stent、心房中隔欠損閉鎖器具含む
消化器関連 * ¹	448	0.9%	591	1.1%	143	32.0%	大腸stent、肝癌治療用ラジオ波焼灼電極針含む
インターベンション 計	3,733	7.3%	2,354	4.6%	△ 1,379	△36.9%	
合計	51,469	100.0%	51,527	100.0%	58	0.1%	

*¹ 自社製品含む

(資料) 連結損益計算書 ('23/3期計画)

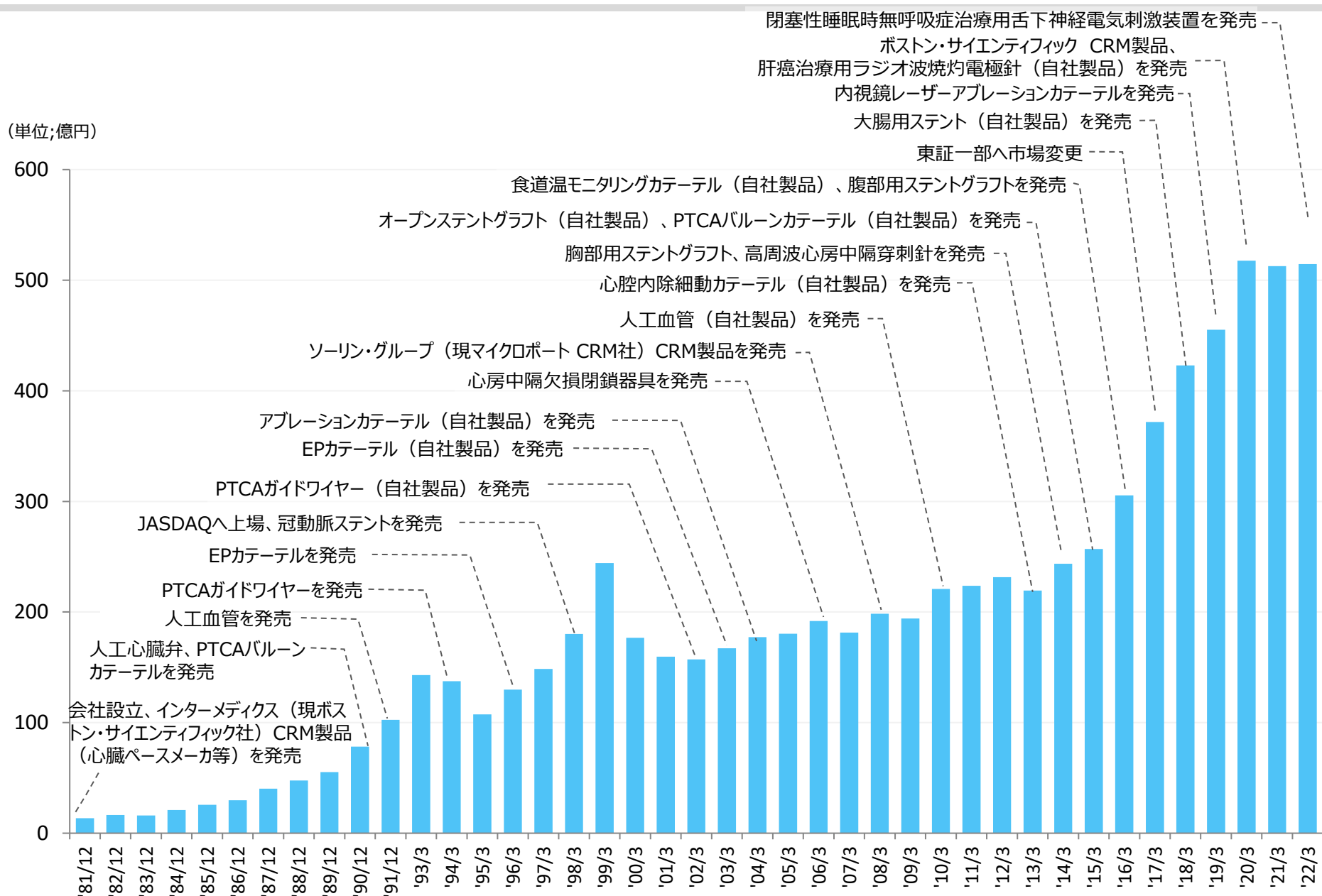
(単位;百万円)	2022/3期		2023/3期			
	通期 実績		通期 計画			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	51,469	100.0%	51,527	100.0%	58	0.1%
売上原価	22,634	44.0%	21,734	42.2%	△ 899	△4.0%
売上総利益	28,835	56.0%	29,792	57.8%	957	3.3%
販管費及び一般管理費	18,861	36.6%	19,781	38.4%	920	4.9%
営業利益	9,973	19.4%	10,011	19.4%	37	0.4%
営業外収益	316	0.6%	94	0.2%	△ 222	△70.2%
営業外費用	285	0.6%	102	0.2%	△ 182	△64.0%
経常利益	10,005	19.4%	10,003	19.4%	△ 2	△0.0%
特別利益	44	0.1%	—	—	△ 44	△100.0%
特別損失	8	0.0%	8	0.0%	△0	△7.9%
税引前利益	10,041	19.5%	9,995	19.4%	△ 46	△0.5%
税金費用	2,556	5.0%	2,720	5.3%	164	6.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,484	14.5%	7,274	14.1%	△ 210	△2.8%

会社概要

商 号	日本ライフライン株式会社
代 表 者	代表取締役社長 鈴木啓介
本 社	東京都品川区東品川2-2-20 天王洲オーシャンスクエア
設 立	1981年2月6日
上 場 市 場	東京証券取引所 プライム市場
証 券 コ ー ド	7575
事 業 内 容	医療用機器の製造、販売、輸出および輸入販売
資 本 金	2,115百万円
決 算 期	3月31日
従 業 員 数	連結1,205名/単体984名（2022年3月31日 現在）
事 業 所	営業拠点48ヶ所、羽田ロジスティックスセンター、関西ロジスティックスセンター、研究開発統括部、戸田ファクトリー、小山ファクトリー、市原ファクトリー、天王洲ACCADEMIA（研修センター）（2022年3月31日 現在）
連 結 子 会 社	SYNEXMED（HONG KONG）LTD.、JLL Shenzhen Co., Ltd.（中国語社名：心宜医疗器械（深圳）有限公司）、JLL Malaysia Sdn.Bhd.

当社沿革と売上高推移

(単位:億円)



当社は創業以来、不整脈や心筋梗塞等の心疾患を治療するための医療機器を扱っており、事業領域はリズムデバイス、EP/アブレーション、外科関連、インターベンションの4つに大別されます。

リズムデバイス

不整脈（心臓の拍動が正常よりも遅くなる、または早くなる状態）を治療する主に体内植込み型の医療機器などを扱います。

リズムデバイス

心臓ペースメーカ
ICD/S-ICD
CRT-P
CRT-D
AED
舌下神経電気刺激装置

外科関連

本来の機能が失われてしまった血管を人工の器官に置き換え、治療するための医療機器を扱います。

EP/アブレーション

EPカテーテル
アブレーションカテーテル
心腔内除細動カテーテル
高周波心房中隔穿刺針
内視鏡レーザーアブレーションカテーテル

心臓血管 領域

外科関連

人工血管
オープンス Tent グラフト
ステントグラフト

EP/アブレーション

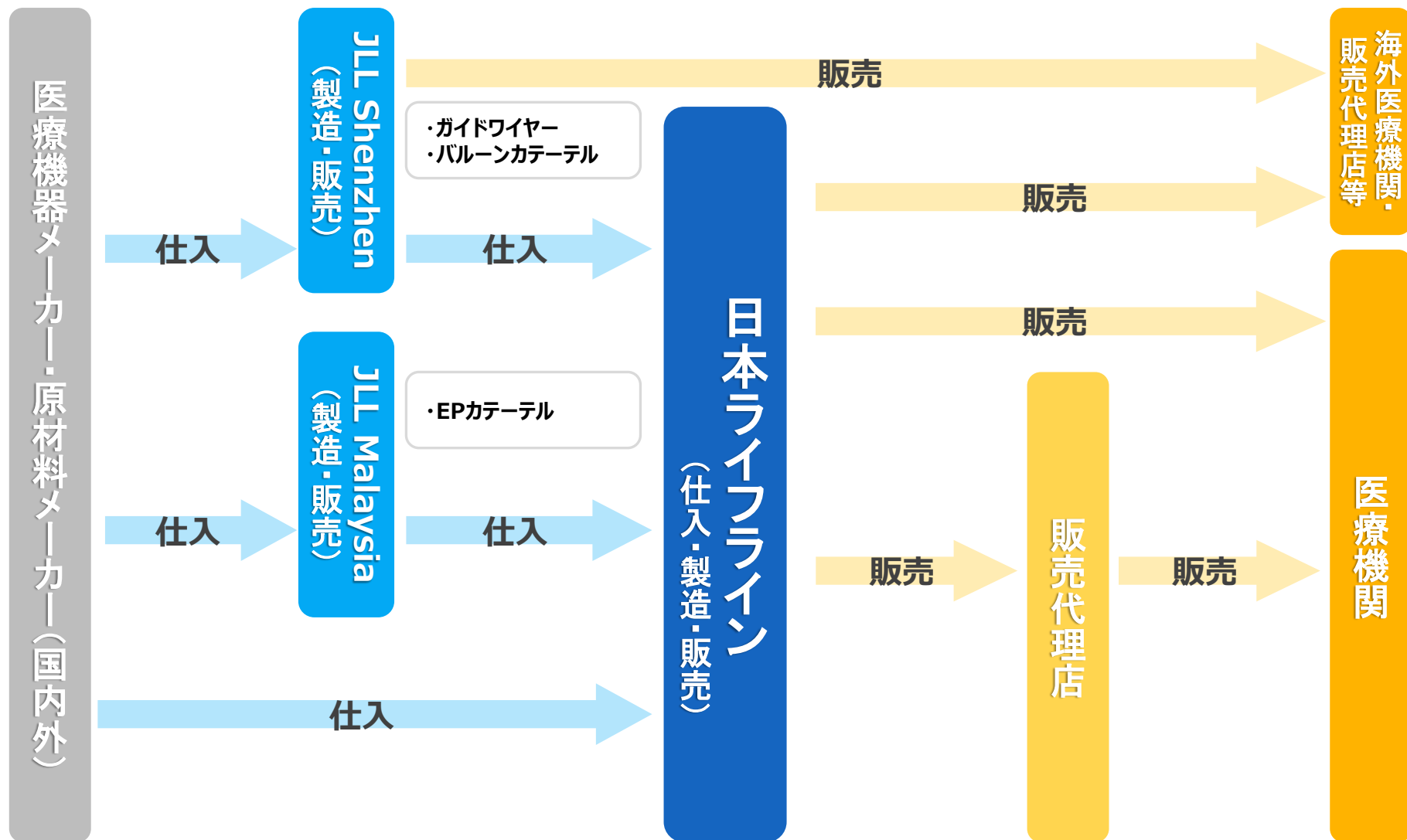
不整脈の検査や治療を行うための、ディスプレイ式電極のついたカテーテル（細い管）などの医療機器を扱います。

インターベンション

ガイドワイヤー
バルーンカテーテル
心房中隔欠損閉鎖器具
薬剤溶出型冠動脈ステント
大腸ステント
胃・十二指腸ステント
肝臓治療用ラジオ波
焼灼電極針

インターベンション

カテーテル（細い管）を皮膚を通して血管内に挿入し、心筋梗塞や先天性の心疾患や消化器疾患等を治療する医療機器を扱います。



心臓ペースメーカー

(Boston Scientific社製)



心臓の拍動が正常よりも遅くなる不整脈（徐脈）に対して、人工的に電気刺激を与えることで拍動を保ちます。

心臓の拍動が異常に早まる不整脈（頻脈）のうち、致死性の不整脈である心室細動の発生を検知し、電気ショックを与えることで、拍動を正常な状態に戻します。

ICD（植込み型除細動器）

(Boston Scientific社製)



CRT-P（両心室心臓ペースメーカー）

(Boston Scientific社製)



重症心不全に対して、心臓の左右両方の心室に電気刺激を与えることで、心臓の同期不全を整えポンプ機能を改善します。

S-ICD（完全皮下植込み型除細動器）

(Boston Scientific社製)



従来のICDは静脈を介し心臓内にリードを留置するのに対し、S-ICDは全てのシステムを皮下に植込むことで血管内や心臓へ異物が留置されません。

CRT-D（除細動機能付き両心室ペースメーカー）

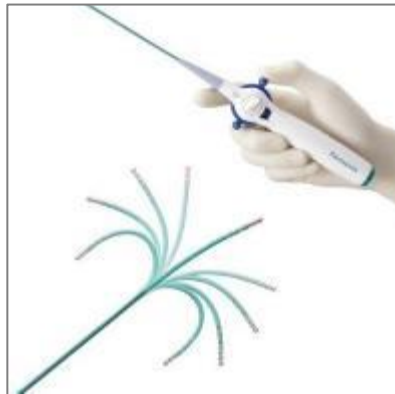
(Boston Scientific社製)



両心室心臓ペースメーカーの機能に加え除細動機能も有しており、致死性の不整脈の発生時は、本体から電気刺激を心臓内に与え治療を行います。

アブレーションカテーテル

(自社製品)



頻脈の原因となる心臓内の異常な電気刺激の経路を、カテーテル先端部の電極から流す高周波電流で焼き切ることで治療します。

不整脈の診断や治療方法の適応を判断するための検査に用いられます。カテーテル先端に電極がついており、心臓内の電位を測定したり、不整脈を誘発させることで原因を特定します。

EP（電気生理用）カテーテル

(自社製品)



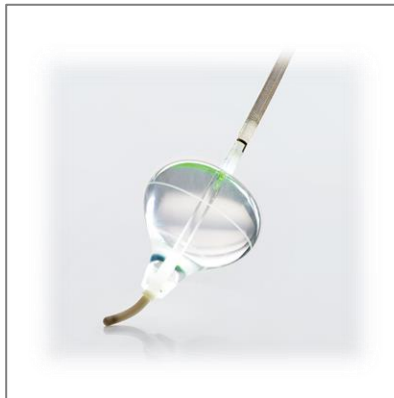
心腔内除細動カテーテル

(自社製品)



アブレーション治療の際に発生する心房細動に対し、心腔内で除細動を行うことにより、低侵襲に心房細動を停止させます。またEPカテーテルとしての診断機能も合わせ持っています。

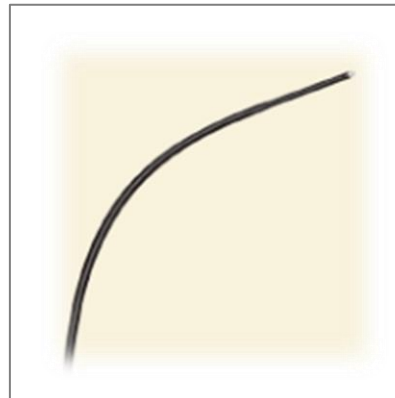
内視鏡レーザーアブレーションカテーテル (CardioFocus社製)



バルーン内部からレーザーを照射し、頻脈の原因となる部位を焼き切り治療します。カテーテル内部の内視鏡により、正確な留置および焼灼が可能です。

高周波心房中隔穿刺針

(BAYLIS MEDICAL社製)



アブレーション治療などの際に、左右の心房の間にある壁（心房中隔）に、カテーテルを通すための穴を高周波により開ける際に使用します。

人工血管

(自社製品)



開胸手術により動脈瘤などで痛んだ血管を切り取り、人工血管に置き換え治療します。

大動脈に挿入し拡張することにより血管に固定します。片側の吻合が不要なため、開胸手術を行うものの低侵襲に大動脈瘤の治療を行います。

オープンステントグラフト

(自社製品)



ステントグラフト

(ENDOLOGIX社製)



外科手術を行うことなく、足の付け根の血管からカテーテルを通じて、治療部位に留置し大動脈瘤を治療します。

バルーンカテーテル

(自社製品)



心臓の筋肉に酸素や栄養を送る血管（冠動脈）が詰まることが原因となる心筋梗塞や狭心症の治療に用いられます。血管の詰まった部分で風船（バルーン）を拡張させ、再度血流を確保します。

バルーンカテーテルを血管の詰まった部分に導くために用いられます。ガイドワイヤーを血管の詰まった部分の先まで通過させ、これに沿ってバルーンカテーテルを進めます。

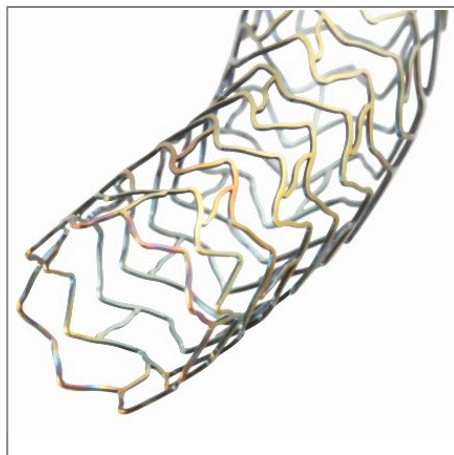
ガイドワイヤー

(自社製品)



薬剤溶出型冠動脈ステント

(BIOTRONIK社製)



血管の詰まった部分を風船（バルーン）で拡張させた後に留置し、再び詰まるのを防ぎます。また塗布された薬剤も再発防止に効果があります。

先天的に心臓の左右の心房を隔てる壁に穴が開いている疾患（心房中隔欠損症）を、外科手術を行うことなくカテーテルを用いて閉鎖栓という円盤状の器具で塞ぎ治療します。

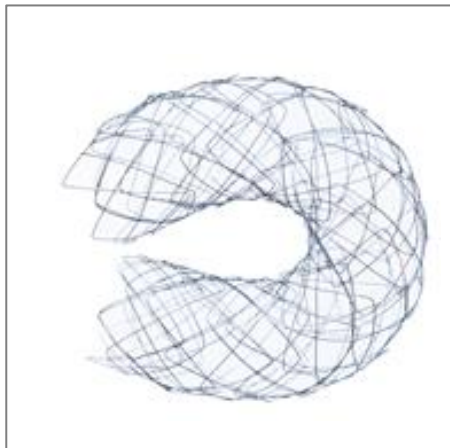
心房中隔欠損閉鎖器具

(Occlutech社製)



大腸用ステント

(自社製品)



癌により閉塞した大腸を押し広げるために用いられます。細いガイドワイヤーで閉塞部を通過させた後、これに沿ってステント留置器具を通過させステントを展開します。症状を大きく緩和させ、QOLの向上に繋がります。

胃・十二指腸ステント

(自社製品)



癌により閉塞した胃・十二指腸を押し広げるために用いられます。ガイドワイヤーを用いて閉塞部を通過させた後、ステントを展開し閉塞部位を押し広げ、狭窄を改善します。

肝臓治療用ラジオ波焼灼システム

(自社製品)



超音波(エコー)やCTで観察しながら針状の電極を経皮的に肝臓の病変組織へ挿入し、電極周囲にラジオ波による熱を発生させ病変を焼灼し治療します。

研究開発

研究開発統括部 (埼玉県戸田市)

Medical Technology Park North Square



(2018/04~)

中核工場

戸田ファクトリー (埼玉県戸田市)

Medical Technology Park South Square



(2012/01~)

量産対応

小山ファクトリー (栃木県小山市)



(2014/10~)

血管・OSGの開発・生産

市原ファクトリー (千葉県市原市)



(2011/01~)

海外工場 ①

深圳工場 (中国深圳市)

JLL Shenzhen Co., Ltd.



(2010/10~)

海外工場 ②

マレーシア工場 (マレーシアペナン州)

JLL Malaysia Sdn.Bhd.



(2020/06~)

ご注意事項

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でない事項は、当社の将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。特に、商品や製品の導入に係る、治験および薬事承認に係る事項、また発売時期につきましては、過去の経験や入手可能な情報から得られた当社の予測であります。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要因の影響により、本資料記載の見通しと異なる可能性がありますので、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ先

日本ライフライン株式会社
経営企画部

TEL:03-6711-5214

E-Mail:ir@jll.co.jp

URL:<https://www.jll.co.jp>